## 施策評価シート

<b>坎</b>	環境への負荷が少ないまち	_ 活理刑分への構築_	体系番号	0301010104
施策等名称	環境への負何が少ないよう	一個現空社会の構実一	主管課	美サイクルセンター

1		<u>基</u> ポと課	本情報 題	茅野市の一 の発生抑制	•排出抑制•資	ごみ排出量は、全国3 1源化等を進める必要 進めるとともに、近隣 6	がある。				
	るべき	す将3 き姿、 きえた	基本的	人の生活やまちを目指し		発生する廃棄物を抑じ	制するとともに、安全	≥で快適な環境へ	への負荷の少ない	持続可能な循	環型の
		-1		指標名称		1	指標の説明(単位)		計画策定時	2022年度目 2027年度目	目標値
施策指	1	<b>–</b> Л	一日当:	たりごみ排出	ı.	一人が一日に排出す	ける資源物を含むご	'みの排出量(g)	943.70	885.70 ※ごみ処理基本計画	改定時に設定
損標	2	可燃	なごみ量(	(家庭系•事業	経系の総量)	年間量(t)			16939.10	14786.	改定時に設定
	3		環境館	来館者数		茅野環境館年間来館	馆者数(人)		10915.00	11000. 11000.	
		名称	循環型	まちづくりの	<b>隹進</b>			主管調	美サ	イクルセンター	
		詳細			の使用やリサ のまちづくりを	・イクル・リユースを推 ・進めます。	進するとともに、家	庭や事業所などだ	いら排出される廃	棄物の削減や	適正な
	施	ま	ちづくり	の目標指標	指標	の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標信2027年度目標信	世を構成する	主要事務事業	
	策の	1 1	リサイクル	率	資源物量/: (%)	年間ごみ量×100	13.82	30.00 ごみ処理基本語	1 環境美化指		実施
	柱 1							画改定時に設定	3 可燃物処理		実施
		2								官管理運営事	実施
									5 資源物収第		実施
		3							6 し尿処理事		実施
		基本名	政策間週	携							
		称						主管調	Į.		
		詳細									
施	施	ま	さづくり	の目標指標	指標	の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標信 2027年度目標信	直柱を構成する	主要事務事業	区分
策の	策の	1							1		
体系	柱 2								3		
		2							4		
									5		
		3							6		
		基本名	政策間道	携							
		称						主管調	R I		
		詳細									
		ま	ちづくり	の目標指標	指標	の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標 2027年度目標	直柱を構成する	主要事務事業	区分
	施策の	1							1		
	の柱。								2		
	3	2							3		
									4		
		3							5		
		基本	政策間選	E 排車					6		$\Box$
		<b>4</b>	~~米间进	= <i>17</i> 3							

施策等名称	環境への負荷が少ないまち	一年理刑社会の構築工	体系番号	0301010104
爬来守石你	環境への負制が少ないよう	一個現宝社会の構業	主管課	美サイクルセンター

## 2 指標等の推移と変動要因

体系区分 指標No.		成果指標名	計画策定時 2018年度		2019年度	2020年度	2022年度						
		八米 11 保石	中間目標値		実績値 /	達成率(実績値							
	施策	一人一日当たりごみ排出量	943.70	897.00	900.90	887.61	851.19	869.90					
	1	スーロコルタビッド所出重	885.70	101.28	101.72	100.22	96.10	98.22					
	2018年度	事業系可燃ごみの総排出量が大幅に減少し	たため										
変動	2019年度	ごみ減量化の取り組みは継続的に実施してい	いるが新たな取り	組みがないため	が構出量が構	増した。							
要因	2020年度	ごみ減量化の取り組みは継続的に実施してい	いるが新たな取り	組みがないため	が排出量が構	増した。							
等	2021年度	新型コロナウィルス感染症の影響によりごみ	排出量の傾向が多	分かりづらくなっ	ている。								
	2022年度	新型コロナウィルス感染症の行動制限が緩和	•										
	施策	可燃ごみ量(家庭系・事業系の総量)	16939.10	16431.50	16479.90	16025.10	15828.60	15905.18					
	2	可能にの量(多姓水・子未来の秘書)	14786.50	111.13	111.45	108.38	107.05	107.57					
	2018年度	事業系ごみの内容物展開検査実施、直接持ち込みの事業者へ分別指導を行ったことより事業系ごみの排出量が減少したため。											
変動	2019年度	ごみ減量化の取り組みは継続的に実施しているが新たな取り組みがないため、排出量が微増した。											
要因	2020年度	ごみ減量化の取り組みを継続的に実施していること及び社会的な要因等により、排出量は減少した。											
等	2021年度	新型コロナウィルス感染症の影響によりごみ排出量の傾向が分かりづらくなっている。											
	2022年度	新型コロナウィルス感染症の行動制限が緩和されたことなどにより、ごみ排出量が微増した。											
	施策	茅野環境館来館者数	10,915	9,625	9,195	8,727	9,467	9,866					
	3		11,000	87.50	83.59	79.34	86.06	89.69					
	2018年度	リサイクルショップ等の民間の事業者が増えていることが要因として考えられる											
変動	2019年度	リサイクルショップ等の民間の事業者が増えていることが要因として考えられる											
要因	2020年度	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、4月に休館としたため											
等	2021年度	新型コロナウィルス感染症の影響による休館日数が減少したため来館者数が増加した											
	2022年度	新型コロナウィルス感染症の行動制限が緩和	ロされたことなどに	より、コロナ禍	前の状況に戻	りつつある。							
	柱1	リサイクル率	13.30	13.70	12.50	12.90	12.60	13.32					
	1	3347704	30.00	45.67	41.67	43.00	42.00	44.40					
	2018年度	資源化総量は前年度とほぼ同水準を維持し可燃ごみの総排出量が減少したため											
変	2019年度	資源化総量は前年度とほぼ同水準を維持し資源物の総排出量が減少したため											
動要因	2020年度	資源化総量は前年度とほぼ同水準を維持し資源物の総排出量が減少したため											
等													
	2022年度	資源化総量は増加し、リサイクル率は増加した。											

0301010104 体系番号 環境への負荷が少ないまち 一循環型社会の構築ー 施策等名称 美サイクルセンター 主管課

3	評価・	改革改善	(.								(単位:	単位:円)	
	ij		2018年(前年	<b>F度比</b> )	2019年 (前年	2020年(前年	度比)	2021年(前年	度比)	2022年(前年度比)			
		事業費(円)	467,619,145		518,797,668	1.11	597,673,621	1.15	552,059,333	0.92	502,896,476	0.91	
		うち一財(円)	449,821,203		501,480,724	1.11	584,155,977	1.16	543,248,672	0.93	490,167,476	0.90	
	投資額	増減理由 (一般財源 前年度比 ±10%以 上の場合 に記載)	3	35066832	諏訪南リサイク/ ターの建設により 金が増えたため	り、負担	諏訪南リサイクル ターの建設により 金が増えたため						
	進	進捗評価 おおむね順調		おおむね順調 おおむね順調		おおむね順調		おおむね肌	調				
<b>一</b>	総合評価	な取組内容が	可燃物・資源物では、適切にの関係を では、自民では、自民では、自民では、自民では、自民では、自民では、自民では、自民	するため ロや、市 :連携というこでの音 作進のた	可燃物・資源物理の の住民への間知 民活動相のを行う どを継続し環境の をを整また、 る。ま発・ も3Rの がある。	するため 1や、市 連携し うことい での普 進のた	可燃物・資源物を のは、適切への間に のは には に は に は に は に は い い は に い い い は に い い い い	るため 連携とい でので に進めた	可燃物・資源物理の し、適切にの周知 民活助組みを行う どを継続し環境が を表する。 また、 る。 を発重要な取り ある。	けるため 1や、市 連携ということいい でのでの 性進のた	(R4評価) 可燃物・資源物: 的、持続的に取り めの方策を市民 した。 (総括減コロース分別 とにより、ナーマを という。 という。 という。 という。 という。 という。 という。 という。	集するた に周知 排出の が影響な なの排	
	価		排出されるごみ 減少傾向にあり クル率も上昇し しかし、市民のま する意識を向上 り組みは、継続 ことが必要である	、リサイ ている。 環境に対 させる取 して行う	排出されるごみで 減少傾向にあり、 クル率も上昇して しかし、市民の現 する意識を向上。 り組みは、継続し ことが必要である	、リサイ ている。 環境に対 させる取 って行う	排出されるごみの減少傾向にあり、 減少傾向にあり、 クル率も上昇して しかし、市民の現 する意識を向上で り組みは、継続し ことが必要である	リサイ いる。 は境に対 させる取 、て行う	排出されるごみく 減少傾向にある クル率の変化は ない。引き続きず 境に対する意識 させる取り組みに して行うことが必 る。	。リサイ 見られ 7民の環 を向上 よ、継続	(R4評価) 環境自治会役員 軽減が各地盟と (総括評価) 排出されるごみい 減少傾向に変化 れない。	ちづくり なった。 の量は が、リサ	
		<b>牧革・</b> 善内容	手段や方法を用 民にPRすること である。 美サイクル茅野 て、ごみ減量に	、様々な いが必要 と協組み では、 といる はいが必要 はいのである。 という はいのである。 という はいのである。 はいのでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでもの	ごみの出し方やでの分別について手段である。 美サイクル減量に作なるを 美サイクル減量に作する等の市民に作って、ご回収袋を作する。 美サイクル減量を作って、新聞を行う。	、様々な が必要 と協組み しい。 はいのである。 はいのでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでもの	ごみの出し方やうの分別について、手段や方法を用民にPRすることである。 美サイクル茅野とである。 美サイクル瀬量に取雑紙回収袋を作って、ご動を継続する。	、様で必 協りである はいが 協りを もり もり もり もり もり もり もり かん おり かん	手段や方法を用 民にPRすること である。 ごみの出し方の 作成配布等ごみ	、様々な いて市 が必要 てびきの 減量の	環境自治会役員 環態のアンケー 行い、負担軽減 の方策を検討し この他にも、ごみ 方のてびきのP 実施した。	ト調査を のため た。 ・の出し 成配布	
火		重点化する 施策の柱	1		1		1		1		1		
善	策	重点 事務事業	1		1		1		1		1		
	の柱等の重点化		環境に対する市の向上のため、動を活発にし、もしている環境展等の活動が重要	市民活 毎年開催 でのPR	環境に対する市の向上のため、i 動を活発にし、領 している環境展で 等の活動が重要	市民活 手年開催 でのPR	環境に対する市」の向上のため、「動を活発にし、毎 している環境展で等の活動が重要	市民活 ≨年開催 ₹のPR	環境に対する市の向上のため、i 動を活発にし、P 活動が重要であ	市民活 R等の	環境に対する市の向上のため、 動を活発にし、F 活動が重要であ	市民活 R等の	